

第2節 学校教育の充実

～活力ある学校づくり～

1 現状と課題

- ◆ 変化の激しい時代を心豊かに生きるためには、生涯学び続けることが必要です。学校教育はそのための基礎づくりを行います。学校は、安心・安全で地域に開かれた場であることはもちろん、一人一人の子どもが輝く、真に魅力のあるところでなければなりません。特に家庭や地域・ふるさとへの愛着を基盤に、豊かな感受性や社会貢献への意欲を養うなど、知・徳・体の調和のとれた発達を促すことが重要です。
- ◆ 子どもを取り巻く社会環境が大きく変化する中、学力や規範意識の低下などの問題が見られるようになり、自ら学び、考え、判断し、行動できる子どもを育むことが時代の要請となっています。
- ◆ 本市では、小学校6校、中学校4校において、保護者や地域の人々が教育に対して高い関心を持ち、学校との良好な関係が保たれた教育環境の下、子ども一人一人の個性を生かす教育を推進しています。しかし、学力や基礎体力、規範意識等の育成や定着に課題がある児童・生徒も見られるため、一人一人に応じたきめ細かな指導・支援をさらに充実することが求められています。
- ◆ 子どもたちに豊かな人間性が育まれるよう、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を実践することが求められています。学校応援団を中心としたボランティア体制の確立など、地域に開かれた学校づくりに向けての基盤が整いつつあるものの、家庭・地域と学校との信頼感をさらに高められるよう取組を推進していくことが必要です。
- ◆ 全ての子どもたちに行き届いた教育とその環境を保障するためには、教職員の資質向上や安心・安全な学校施設・設備の整備が求められます。さらに、不登校やいじめなどの悩みを抱える児童・生徒に対するサポートや、特別な教育的支援を必要とする子どもたちが適切な教育を受けられる体制の強化が大切になります。
- ◆ 教育の役割がますます高まる中、今後もまちの特性を生かした教育の一層の推進に努めるとともに、地域が一体となって次代を担う人材を育てるための環境づくりを進めることが求められています。

2 施策の方向

(1) 子どもの輝く学校

① 基礎・基本の確実な定着

「学力」「規律ある態度」「体力」の3つの分野について、各学年で確実に身につけるべき基礎的・基本的な内容を定着させるとともに、人間関係力を基盤とした豊かな心の育成を進めます。

② 個に応じた指導の充実

教育補助員、教科指導補助員などの補助員や市費負担教職員等の配置により、児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。

③ 体験活動の積極的推進と豊かな心の育成

体験活動を軸とした『総合的な学習の時間』を活用するとともに、特別活動、道徳教育及び人権教育の充実と読書活動の推進を図り、心豊かな児童・生徒を育成します。各小・中学校における体験活動の推進とその内容の共有化・改善を図ります。

④ 国際化・情報化社会への対応

国際化の進展する社会の変化に対応するため、引き続きAETを配置し、外国語教育及び国際理解教育の強化を図ります。また、ICT機器の有効活用など情報教育の充実を図り、わかる・できる・いかせる授業づくりを推進します。

(2) 魅力ある学校

① 信頼される教職員の育成

教職員の研修を計画的に実施し、教職員一人一人の資質向上を図り、指導力のある信頼される教職員の育成に努めます。特に、道徳教育をはじめ今日的課題に対応した研修の充実を図ります。

② 特別支援教育の充実

特別支援学級の設置、補助員等の配置等に加え、特別支援学校と市立小中学校の両方に籍を置く「支援籍制度」の活用にも努めながら、個別の教育的支援が必要な児童・生徒に対する、きめ細かな支援体制を整え、ノーマライゼーションの理念に基づく教育の充実を図ります。

③ 教育環境の整備・充実

「白岡市学校施設大規模改修計画」に基づき、予防保全型の改修・修繕等

を推進します。また、各小・中学校の教室等のエアコン、学校図書館の蔵書、教材備品、トイレの洋式化などの整備を進めるとともに、図書館教育補助員の配置、市教育情報通信ネットワークを利用した教育情報の共有を図るなど、教育現場の需要に沿った必要な環境の整備・充実を進めます。

(3) 開かれた学校

① 家庭・地域との信頼関係の強化

各小・中学校において授業公開の計画的な実施を促し、学校自己評価・外部評価を学校経営の改善に生かし、学校の教育力と信頼を高め、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めます。

② 家庭・地域・学校の交流の推進

地域の人材の活用や各小・中学校の学校応援団活動を支援し、地域と連携した学校支援活動を推進します。また、幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校の交流を促進するとともに、小中一貫教育を見据えた滑らかな接続を図ります。

③ ふるさと意識の醸成

地域の食材や郷土料理を学校給食に導入したり、社会科副読本を活用し、地域学習を推進したりしながら、ふるさと意識の醸成を図ります。

④ 広報活動の充実

学校活動を保護者や地域と一体になって展開するため、「広報しらおか」、学校だより、各小・中学校のホームページなどによる情報提供の充実を図ります。

(4) 安心・安全な学校

① 教育相談の充実

各小・中学校の教育相談室の充実と、臨床心理士やスクールソーシャルワーカーを教育支援センターに配置することにより、いじめ、不登校及び人間関係に悩む児童・生徒一人一人に対し、きめ細かに対応できる相談体制の充実を図ります。

② 防災対策の推進

避難訓練や交通安全教室、施設・設備の安全点検・危機管理対策等を確実に実施し、児童・生徒の安全確保を図るとともに、自他の生命を尊重し、日常に潜む危険や自然災害に対する的確に判断し行動できる児童・生徒の育成を目指します。また、各小・中学校施設の災害時における避難所としての機能の強化に努めます。

③ 情報管理の強化

情報モラル教育や情報セキュリティ研修会を充実させ、各小・中学校における情報の安全管理の徹底を図ります。

④ 防犯対策の推進

学校応援団組織を生かした防犯ボランティア、スクールガードリーダー、子ども110番の家など、地域ぐるみで子どもたちの安全確保に努めます。

[地域住民の役割]

- ◆ 学校応援団などの活動を通じて、地域ぐるみで学校教育を推進します。
- ◆ 保護者や地域住民、関係機関等による外部評価を実施し、その結果を学校運営に積極的に反映させていきます。

3 数値目標

| 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|---|----|------------------|-------|--------------------|--|
| | | 平成27年度 | | 平成33年度 | |
| 埼玉県学力・学習状況調査正答率 | % | 65.1 | | 70.0 | |
| 新体力テストの県目標値との比較 (5段階評価での上位3段階の占める割合) | % | 小学校 | 85.0 | 87.0 | |
| | | 中学校 | 90.0 | 92.0 | |
| | | | 86.1 | 87.0 | |
| 小・中学校図書館図書標準達成率 (国が定めた標準による整備すべき蔵書冊数に対する実際に整備されている蔵書冊数の割合) | % | 小学校 | 109.1 | 110.0 | |
| | | 中学校 | 97.1 | 100.0 | |
| 小・中学校校舎のトイレにおける便器の洋式化率 | % | 26.8 (平成26年度) | | 50.0以上 (平成31年度) | |